

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
34	ヤマザキ動物看護大学	伴侶動物行動学	堀井 隆行 動物看護学部 講師	2	前期	金	15	13:10~14:40	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

#### 【到達目標】

動物の行動は、その動物の健康状態や心理状態、身体的能力や知的能力など様々な情報を含んでいる。これらの情報を正確に読取ることは、人と動物が良好な関係性を築く上で不可欠である。そのため本講義では、伴侶動物として代表的なイヌ・ネコを中心に、その行動についての基礎的知識を学修し、理解を深め、実際に伴侶動物を取り扱う場面において還元することができる考察力を修得することを目標とする。

#### 【授業の概要】

伴侶動物(主にイヌ・ネコ)の行動原理を知り、行動に含まれる情報を理解するために、動物行動の基礎概念から個体行動・社会行動、維持行動・生殖行動・失宜行動といった行動分類に沿って体系的にその行動について学ぶ。また、学習理論や行動発達などにも着目し、ドッグ(キャット)トレーニングとの関連性、成長過程におけるイヌ・ネコの行動、問題行動との関連性についても学ぶ。

#### 【授業内容】

- 動物行動の基礎的理解①:動物行動の基礎概念と特性について学ぶ
- 動物行動の基礎的理解②:家畜化による行動変化と行動分類、行動発現のメカニズムについて学ぶ
- 伴侶動物の維持行動①:摂食行動(摂食、飲水)、休息行動、排泄行動について学ぶ
- 伴侶動物の維持行動②:護身行動、身繕い行動、探査行動、個体遊戯行動について学ぶ
- 伴侶動物の社会行動①:群れと社会構造、社会空間行動について学ぶ
- 伴侶動物の社会行動②:知覚能力とコミュニケーションシグナル、社会的探査行動について学ぶ
- 伴侶動物の社会行動③:敵対行動と親和行動、社会的遊戯行動について学ぶ
- 伴侶動物の生殖行動:性行動と母子行動について学ぶ
- 伴侶動物の失宜行動:葛藤行動と異常行動(ストレス負荷時の行動)について学ぶ
- 学習理論①:古典的条件づけ、オペラント条件づけについて学ぶ
- 学習理論②:馴化、鋭敏化、般化、弁別、消去等について学ぶ
- 学習理論③:学習理論とドッグ(キャット)トレーニングとの関連性(反応形成)について学ぶ
- イヌ・ネコの行動発達①:子イヌ・ネコの各成長過程における行動発達について学ぶ
- イヌ・ネコの行動発達②:子イヌ・ネコの社会化について学ぶ
- イヌ・ネコの問題行動入門:問題行動の発生とその予防・対処について、これまでに学んだ内容と関連付けながら入門的に学ぶ

#### 【成績評価方法】

定期試験(60%)・課題レポート(10%)・授業への参加度(30%)による総合評価。

#### 【教科書】

『認定動物看護師教育コアカリキュラム 2019 準拠 応用動物看護学 3 動物行動学/伴侶動物学/産業動物学/実験動物学/野生動物学』  
日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会 編 インターズー

#### 【参考書、教材等】

『動物行動図説 家畜・伴侶動物・展示動物』  
佐藤衆介・近藤誠司・田中智夫・楠瀬良・森裕司・伊谷原一 編 朝倉書店  
教材には、Microsoft Power Point で作成したスライドに具体的事例の画像や動画を盛り込んだものを使用。

※ この授業は、4/10(金)が初回です。